

# 地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

## 呼吸器内科

呼吸器内科部長 岩嶋大介

呼吸器内科は肺炎や結核などの呼吸器感染症、喘息や肺気腫に代表されるCOPD(Chronic Obstructive Pulmonary Disease)慢性閉塞性肺疾患)、肺癆などの肺腫瘍、間質性肺炎などの肺が広範囲におかされるびまん性肺疾患などが対象疾患です。診断のためにレントゲンやCTによる画像的評価、呼吸機能検査で肺活量や気道の閉塞の評価、肺の内部の検査のために口から気管を通し内部を覗いて肺の影や肺そのものの一部採ってきたり、肺を洗浄して検査をする気管支鏡などの検査を行うことがあります。呼吸器疾患に罹患してその診断や治療は大事なことですが、より心がけたいことはその予防です。



肺炎に対しては高齢者は国からの助成も受けられる肺炎球菌ワクチンの接種、インフルエンザはそのものを予防したいですが、喘息発作やCOPD増悪の原因にもなります。また、インフルエンザ後は肺炎にも罹患しやすいのでワクチン接種をお勧めします。また、排気ガスも原因にはなりますが、COPDの主たる原因は喫煙です。心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病などの生活習慣病の悪化にもつながりますし、肺癌の危険因子です。禁煙は多疾患の有効な予防手段なので、ぜひ思い立ったらすぐに行動に起こしてください。

当院では呼吸器疾患は呼吸器外科、肺腫瘍内科、総合内科・感染症内科、救急診療科との協力体制で診療を行っています。

## 健康管理センター

国際診療科部長兼健康管理センター長 南合かおり

健康管理センターでは、市民のみならずが健康状態を毎年チェックできるよう、人間ドックや検診を行っています。

人間ドックでは看護師による問診、医師による診察に加え、血液検査や尿検査、腹部の超音波検査、呼吸器検査、内視鏡検査などを用いて全身の健康状態を調べ、早期に病気を発見して治療につながるよう、希望者には医師が直接結果について説明しています。症状がなくても、人間ドックを受診することで、異常が見つかることは多々あります。



健康管理センターでは、通常の人間ドックのメニューの他にも、追加で脳ドックやがんの腫瘍マーカー、乳がん検診、がんになるリスクを調べるアミノインデックスなどのオプショナル検査を複数用意しており、また特定健診、後期高齢者医療健診、企業検診、泉佐野市民検診である骨密度測定検査、市民乳がん検診も行っています。特定健診受診後に保健指導対象者となった人には当日中に保健指導を行い、生活習慣の改善にも力を入れています。

その他にも、被爆者2世健診、海上保安庁、消防署、関空の検疫所などの公務員の健診、就学時・就職時健診、企業の職員およびその家族の健診なども行っています。今年度からはさらに睡眠時無呼吸症候群のスクリーニングやアミノインデックス検査でがんのリスクが高い人向けに、各種がんのスクリーニング検査セットも始めました。地域住民の健康を守るべく、今後も検査内容を充実させていく所存です。